利府町文化交流センター　モニタリング評価

【A. 総括評価シート】

評価年度	令和　7　年度

1．基本情報

公の施設名	利府町文化交流センター
指定管理者名	利府みらいクリエイティブ（代表企業：丸善雄松堂株式会社、構成企業：アクティオ株式会社、株式会社東急コミュニティー）
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設設置条例	利府町文化交流センター条例(令和元年条例第24号)
施設の設置目的	町民の文化芸術活動及び交流の場を提供するとともに、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって町民の教育と文化の発展及び福祉の増進に寄与すること。
施設概要	場　　所　：　利府町森郷字新椎の木前31番地1 敷地面積　：　22,403.61㎡ 建物概要　：　鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階一部3階建て、地下なし 建築面積　3,869.41㎡ 延床面積　5,308.01㎡ 駐車場　約380台（内おもいやり駐車場6台） 駐輪場　約70台（37.11㎡） 主な施設　：　利府町図書館　1,206.05㎡ 利府町公民館　556.30㎡ 利府町文化会館　3545.66㎡（共用部分含む）
施設所管課	利府町教育委員会　教育部　生涯学習課

2．管理実績(年間)

項目(単位)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
来館者数合計(人)	144,663	230,333	242,730	250,207	277,477
利用料金収入合計(円)	8,671,450	14,178,350	13,651,560	13,504,310	15,025,580

3．成果指標の達成度

指標１

指標名（単位）	年間利用者（来館者）数の増加　（人）
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で来館者数を147,000人以上とし、次年度から令和7年度まで来館者数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに155,000人以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値(人)	110,250	148,000	149,000	150,000	151,000
実績値(人)	144,663	230,333	242,730	250,207	277,477
達成度(%)	131%	156%	163%	167%	184%

指標２

指標名（単位）	利用登録団体数の増加　（団体）
指標式と指標の説明	令和3年度末時点で利用登録団体数を143団体以上とし、次年度から令和7年度までに団体数の増加を図るものとする。 なお、総合計画において令和12年度までに158団体以上とする目標を掲げている。

項目(単位)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値(団体)	143	145	147	149	151
実績値(団体)	414	639	619	639	624
達成度(%)	290%	441%	421%	429%	413%

指標３

指標名（単位）	年間貸出冊数　（冊）
指標式と指標の説明	利府町総合計画「生涯学習の推進」における指標として、令和7年度までに、町民ひとり当たりの図書の年間貸出冊数を8.5冊以上という目標を掲げている。 なお、総合計画において令和12年度までには12冊以上とする目標を掲げている。 しかし、上記は人口変動の影響を受けるため、指定管理者の評価には貸出冊数を目標値とし、令和７年度まで増加を図るものとする。

項目(単位)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値(冊)	208,000	249,800	274,800	302,200	332,500
実績値(冊)	194,856	285,718	302,619	310,555	305,294
達成度(%)	94%	114%	110%	103%	92%

評価（５段階）	評価理由
S	上記指標の達成度の平均が「229%」となるため、「Ｓ評価」となる。 図書の貸出数については、減少してるが、来館者数については、令和７年度で100万人を達成し、施設の認知度は確実に上がってきている。各々の目標指標を達成できたことは、指定管理者の努力の成果と評価できる。
【評価基準 Ｓ ：当該年度の達成度が１１０%以上】	

懇話会意見	年間貸出冊数が前年より減少しているが、その他の指標においては高い達成度となっており、総合的には高評価である。施設利用者数が増加し、認知度の向上が見られ、順調な施設運営が行われていることを評価する。 また、当初目標としている指標を、令和８年度に見直しを行うことの説明を事務局から受け、実情に沿った目標値を設定し、その目標に対する成果を、次年度以降に期待したい。

４．事業の実施状況

⑴指定事業（全31事業より抜粋）

①図書館　指定事業

主な事業名	実施時期	内容
おはなし会	毎週水曜 毎週土曜	曜日別に対象を分け、絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びや簡単な工作などを行うおはなし会を実施。
リサイクルブックフェア	4・10月	町民の図書館利用の促進を目的に、図書館で保存していた資料を無料で提供する。図書館内の除籍資料が少なくなったことから、利用者からも寄贈資料を募集した。
ボランティア養成講座	７月・８月 12月	配架・修理ボランティア、読み聞かせボランティア、音訳ボランティアを対象に養成講座や交流会を実施。
図書館ツアー	4月～	ツアー形式で図書館内を職員が案内。 希望があれば随時開催することを基本に、開館記念月である7月は一般募集を行い実施。学校関係や他図書館、自治体などの見学もあり。
出張おはなし会	都度	各施設に図書館職員が伺って、施設に通う児童や利用者に向けておはなし会を実施。参加者へ図書館利用方法や育児支援コーナーもPRした。

②公民館　指定事業

主な事業名	実施時期	内容
ガーデニング講座 「みんなの家庭菜園学級」	4月・5月 7月・9月 11月	家庭で簡単に栽培できる野菜作りを通して、試行錯誤を楽しみ創意工夫をしながら収穫する喜びを体感した。地域住民同士のつながりづくりの場を提供することができた。
リフノス将棋教室	7月・8月	日本将棋連盟の協力を得て、初心者・経験者ともにプロ棋士より指導を受けて理解を深めた。将棋を通じて思考力、集中力、決断力、洞察力の養成や日常生活での礼節を身につけられる機会となった。
利府町の動植物を学ぶ ～フィールドワーク＆マップ作り～	4月・5月 8月・11月 12月・1月 2月	3年にわたって町内自然スポットに生息する動植物についてフィールドワークと季節のまとめを行い、散策の際の楽しみとなるパンフレットを作成し、町内外へ発信した。１年目は「番ケ森」。
利府町文化祭	11月	利用者サークル等の出演（ステージ発表）、出展（作品展示）、体験、物販部門にて地域住民の交流と親睦を図ると共に、薫り高い文化の祭典。前年の反省点や要望を反映させ、出演の控室、物販の開催場所を一部変更する工夫を施した。運営サポーターとしてジュニアリーダーから6人参加。
あなたが主役！ 生涯学習まちづくり養成講座	随時	宮城県利府高等学校に協力を要請。文化部の活動の場の提供や利府町文化祭への参加を通して、今後の生涯学習まちづくりの担い手作りを進めた。 ①美術部による館内作品展示、②２年生を対象とした出張講義、③華道部による館内作品展示、④軽音部の部活動(練習)

③文化会館　指定事業

主な事業名	実施時期	内容
エントランスコンサート	4月・5月 8月・11月 12月・1月 2月	エントランスホールの開放的な空間で来館者に広く楽しんでいただく無料イベント。リフノスイルミネーション点灯事業募金箱を設置し、事業への理解を図った。アウトリーチとして役場町民交流館にて8月に開催した。
リフノス4周年 花乱舞～part4	7月	神田将によるエレクトーンとAtoa.による和太鼓のコラボレーション公演。308座席、販売252席。当日244人（大人226人、こども18人、内招待20人）観覧。
瀧川鯉斗独演会	9月	古典落語に取り組み高い評価を得ている実力派真打による独演会。現代にも対応した落語スタイルを楽しんでいただいた。321座席、販売110席。当日126人（大人96人、こども6人、内招待24人）観覧。

恋するクラシック ～バイオリン・奥村愛× ピアノ・河野紘子～	11月	人気を博すバイオリニストとピアニストによる「利府町・リフノスへの思い」のメッセージボードの出演でお馴染みのピアニストによる華やかなデュオ。ナビゲーターを交えてのクロストークで分かりやすく解説した。 321座席、販売67席。当日92人（大人76人、こども16人、内招待33人）観覧。
目指せ未来の○○企画 ダンスパフォーマー	5月～11月	ダンスを通じて自分を表現することを学び、その成果を文化祭で披露した。ホール見学や照明・音響にも触れて舞台芸術の世界に興味を持つ機会を設定し、ホールイベント時の運営サポーターとして活躍できる人材育成も視野に入れた。

⑵提案事業（全48事業より抜粋）

主な事業名	実施時期	内容
イオンモール連携事業	9月～	未来屋書店・本屋隊長を講師に招き、利府高等学校でのPOP講座、利府感動倶楽部主催事業「本の日」にて未来屋小説大賞をテーマにした読書会を実施した。また、未来屋書店・新利府南館店にリフノスコーナーを設けていただき、広報用発行物等を設置を行った。
ちゅうがんじたかむさんワークショップ →「絵本作家・イラストレーターちゅうがんじたかむさんと描く「わたしたちのまち」」として実施	11月	絵本作家・イラストレーター・ちゅうがんじたかむ氏を講師に招き、フェンスアート制作を実施。全2回のワークショップとなり、第1回ではオリジナルキャラクターを制作、第2回では、フェンスアートを制作した。
バックヤードツアー	7月	実際の舞台転換作業を見学・一部体験しながら舞台の仕様について学んだ。多目的ホールの構造や仕組みを知る場を提供し、舞台芸術の世界に興味を持つきっかけ作りになった。
イオンモール利府との連携事業 リフノス×カンドゥー新利府	7月	カンドゥー新利府と連携し、1日貸し切り、割引優待にて実施した。参加者には「将来の夢について」「夢の実現に向けて」という題で作文、絵を描いてもらい、未来の自分を想像し考える機会を提供し、カンドゥー新利府内に掲示した。
シンボルツリーの灯　点灯式	12月	リフノスジュニア合唱団による合奏、クラシック演奏、シンボルツリー点灯のカウントダウン、抽選会、キッチンカーの出店で来館者と一緒に楽しんだ。最後は来館者と一緒に「よろこびのうた」を合唱し、締めくくった。

⑶自主事業（全2事業）

主な事業名	実施時期	内容
リフノスPR事業	11月～12月	リフノス来館者100万人達成時期に、リフノスの歩みのパネル展示や利用者からいただいた「利府町・リフノスへの思い」のメッセージボードの作成（参加者にはオリジナル巾着入りのハンドタオルをプレゼント）、こどもたちによる「わたしたちのまち」をテーマとしたフェンスアート作成やプラネタリウムの上映を行い、多くの方々に参加いただいた。またアリーノにおいても期間限定の特別メニューを提供した。
カフェレストラン・アリーノ	通年	営業日数303日。定休日及び臨時休館時以外はすべて営業。通常営業の他、年間通して図書館、公民館との連携事業を実施した。

評価（５段階）	評価理由
A	令和７年度事業実績は、全体的に計画に沿った適切な実施状況が確認することができた。公民館事業における1事業の実施回数減少については、その背景と改善方針の説明があれば、より一層の理解が進むものと考える。 一方、全国食の甲子園協会、NHKなど、外部機関との連携事業については、戦略的かつ効果的に推進されたと評価できる。特に「ご当地！絶品うまいもん甲子園」、「NHK仙台キッズフェスティバル出張版」は、町内外者の施設認知度向上と地域貢献に大きく貢献している。これらの実績は、今後の指定管理業務において、さらなる連携強化の基礎となる成果であり、次年度以降の事業展開に向けた好材料となることを期待する。
【評価基準 A ：基礎点に対する実績点の割合が１００%以上１２５%未満】	

懇話会意見	公民館事業、図書館事業における実数の減少については、単なる実績の低下ではなく、その背景にある要因の分析と改善方針の提示が重要なことであると認識している。今後、利用者ニーズの変化、スタッフの人員配置の最適化など、具体的な理由を明確にすることで、次年度以降の事業計画の信頼性が高まるものと考える。 しかしながら、外部との連携事業については、地域資源の活用と施設の認知度向上の観点から、高く評価する。 今後は、これらの成功事例を基盤としながら、さらに多角的な連携先の開拓と、事業の継続性・発展性の検討を期待する。

５．利用者の満足度

⑴利用者満足度調査

調査手法/回答数	施設利用者アンケート調査の実施　/　人
目標値の基準	施設利用者を対象にアンケート調査を実施し、設問「施設の設備・サービスについて満足しているか」総回答に対する「満足している」「どちらかというと満足している」と回答した割合の小数点以下第2位を四捨五入した数値を実績値とする。 （目標値80%は募集時の提案書記載の数値）

項目(単位)	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
目標値(%)	80%	80%	80%	80%	80%
実績値(%)	75%	84%	88%	90%	91%
達成度(%)	93%	105%	110%	113%	114%

⑵その他の取り組み

取組事項	時期	内容
事業ごとアンケート	都度	各館、事業の参加者にアンケートをお配りし、率直な感想をいただいている。集計結果を職員で共有し、次年度の事業内容や日々の運営に反映させている。
お客様の声	都度	総合受付に「お客様の声」ボックスを設置。いただいたご意見やご要望は施設全体に共有している。
Webサイトからのお問い合わせ	都度	施設Webサイトのお問い合わせメールフォームから随時お問い合わせを受け付け、担当者より回答を差し上げている。

評価（５段階）	評価理由
S	上記指標の達成度が「１１４％」となるため、「S評価」となる。 今回の実績は、指定管理者において実施した令和７年のアンケート調査の結果を反映している。令和6年の回答数が273件、今回は217件と回答数が56件、減少しているものの、利用満足度の評価は高く推移している。
【評価基準 S ：利用者満足度の目標値に対する達成度が、１１０%以上】	

懇話会意見	S評価という成果は十分に認める一方で、持続可能な事業展開という観点からは、定量的な回答数の確保と、より多角的なユーザー層の満足度把握が次年度までの課題として位置づけ、今後の運営に期待する。

６．経営状況

⑴施設の収支概要

単位：千円

項目	令和6年度決算	令和7年度決算	令和6年度･令和7年度決算比
収入（ａ）	236,863	245,983	9,120
指定管理料	220,670	227,804	7,134
利用料金収入	13,504	15,025	1,521
（うち、減免補填額）	（2,514）	(3,287)	(603)
事業収入	1,946	2,472	526
その他の収入	743	682	-61
支出（ｂ）	234,050	236,142	2,092
人件費	111,149	110,476	-673
事務事業費	57,517	60,845	3,328
維持管理費	65,275	64,756	-519
その他の支出	109	65	-44
収支（ａ)-(ｂ)	2,813	9,841	7,028
備考	光熱水費の実績円 20,064,743円	光熱水費の実績円 20,414,049円	

※　光熱水費については、収支のほかに指定管理者が立て替え払いしたのち、町で補填している。

⑵指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	提出された決算書からは、財務状況を確認したところ、利府みらいクリエイティブの経営母体である各社の財務状況に支障は認められない。

評価（５段階）	評価理由
A	総収支が黒字、指定管理料以外の独自収入は18,179千円となり、総収入の7.3%にあたり、昨年度の6.8%より0.5%伸びている。 各社の経営状況に不安はないが、固定比率と総資本経常利益率において前年度より数値が下がっている構成企業はあるが、支障はないと認識し評価する。

【評価基準 A：施設の経営状況の得点が１５点である】
・総収支が黒字である（5点）
・独自財源の確保（利用料金収入、補助金等の獲得など）が総収入の5%程度である（5点）
・各社（指定管理者の母体）の経営状況に不安がない（計画外の大幅な赤字がない、監査や総会にて重大な指摘事項がない）（5点）
・「自己資本比率」、「流動比率」、「固定比率」、「総資本経常利益率」について、過去３期にわたり好転（現状維持含む）が続いている（5点）

懇話会意見	本年度の事業成果は、安定性と改善の両立を示すものとして評価できる。今後も、現在の安定基盤を保ちつつ、自己財源の増加と経営指標の継続改善に向けた取り組みを進めることが、より強固で持続可能な団体経営の実現に寄与するものと考える。

７．管理業務の履行状況

検査方法	利府町教育委員会生涯学習課職員が、現地調査により資料や施設現況の確認を実施した。 また、詳細確認は、指定管理者へのヒアリングを実施で検査を行った。
実施時期	令和７年７月（令和７年４月～６月検査）、１０月（７月～９月検査）、 令和８年１月（１０月～１２月検査）、４月（令和８年１月～３月検査） （年１回以上実施）

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適 正	
危機管理	適 正	
人員配置・地元活用	適 正	
現金管理	適 正	
会計・経理	適 正	
情報セキュリティ	適 正	
情報公開・個人情報保護	適 正	
町への報告事項・事前承認等	適 正	

加点事由	具体的内容
無	

評価（５段階）	評価理由
A	指定管理５年目となり、安定した管理運営がなされている。町への報告事項も適宜館長や管理担当者から行われるなど、適切な対応がとられていると評価できる。
【評価基準 A ：全ての検査項目が適正に実施されている又は「改善済」の項目が1 つあり、加点事由がある】	

懇話会意見	貴施設の指定管理運営は、所期の目標を達成し、良好な状態を保持していると評価できる。 今後も、社会情勢の変化に対応した施設利用ニーズの把握と対応ができるように努められたい。

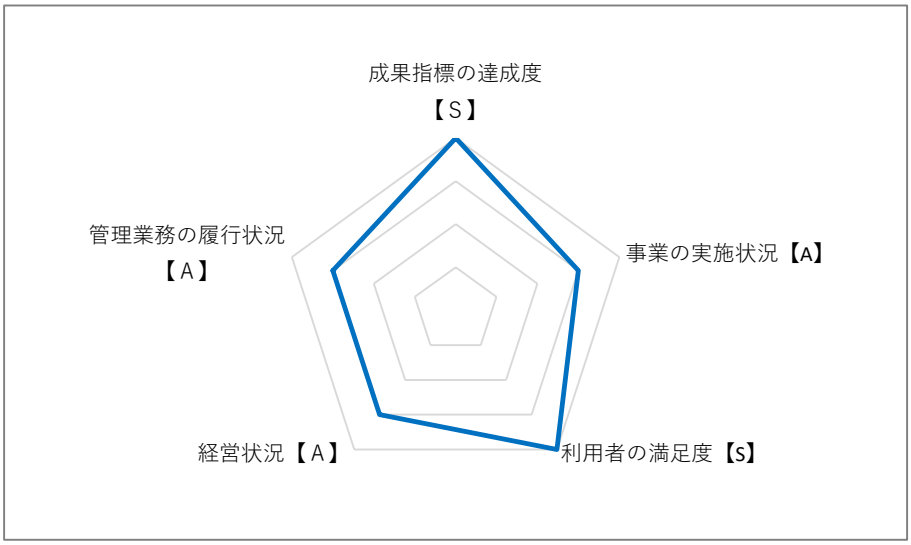
8．指定管理者の自己評価

自己評価点数	成果指標となっている、来館者数、利用登録団体数に関して、目標値を上回ることができた。図書館においては、学校図書室との連携を深めるとともに、書店連携も始まり文字・活字文化の振興を進めている。公民館・文化会館においては、一部の公民館教室からのサークル化、参加者の資格取得による地域活動への広がりが見られている。利府町文化祭においては、前年の反省点や要望を反映し実施したことで参加者による満足度アップにつながった。施設管理においては、省エネ施策として、熱源水温度設定の細分化・熱源及び空調の運転時間変更を実施し、修繕面では引続き極力自営で対応した。
70	
自己総合評価	
A	

9．最終評価

総合点数
85
最終評価
S

【評価基準 S ：85点以上
要求水準を大幅に上回り、
非常に優れた成果をあげている】
S＝２０点
A＝１５点
B＝１０点
C＝５点
D＝０点



懇話会意見	来館者数などの定量指標に加え、参加者の学習成果や地域課題解決への関与度などから、定性的成果が出ていることは評価する。 しかしながら、指定管理期間が5年以上となり、外部との連携事業も増えている中で、もう一度、ここで原点回帰して、基本的な接遇や、事業の本来実施の意義を再認識してもらいたい。 その上で、リフノスは「利用実績がある施設」から「地域文化の中心拠点」への発展ができると認識し、今後の施設運営に期待する。